

事務事業名		碓氷海岸インフォメーションセンター管理運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		
	施策名	03 にぎわいあふれる商業・観光の推進				
	基本事業名	02 滞在型観光の推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 令和3 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 07 01 04 24 事務事業区分 (A) 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)		
所属	部課名	商工港湾部観光交流推進室		全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0		
	課長名	森 正				
	係名	電話	0192-27-3111			
	担当者	古澤 純悦	内線			114
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 三陸復興国立公園の魅力の発信及び利用の増進を図り、観光誘客の取組を進めるため、碓氷海岸キャンプ場の運営やみちのく潮風トレイルの利用促進、観光情報の案内や発信等の拠点である碓氷海岸インフォメーションセンターの管理運営を実施する。 事業の具体的な内容は次のとおり。 碓氷海岸インフォメーションセンターの管理運営、ホームページやSNS等による観光情報発信、観光案内及び観光客動態調査、碓氷海岸キャンプ場管理運営、碓氷海岸園地整備及び施設の管理、みちのく潮風トレイルのサテライト業務、三陸ジオパーク(碓氷海岸)の利用促進、各種団体との連携による観光振興。 事業の実施にあたっては、施設等の管理運営を行う碓氷海岸集団施設地区運営協議会(事務局:観光物産協会)に負担金を交付。						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 碓氷海岸インフォメーションセンターや碓氷海岸キャンプ場の管理運営、HPやSNS等による情報発信、観光案内、碓氷海岸園地や施設等の管理、みちのく潮風トレイル・三陸ジオパークに係る取組、各種団体との連携による観光振興。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 碓氷海岸インフォメーションセンターや碓氷海岸キャンプ場の管理運営、HPやSNS等による情報発信、観光案内、碓氷海岸園地や施設等の管理、みちのく潮風トレイル・三陸ジオパークに係る取組、各種団体との連携による観光振興。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 対象施設数</td><td>2</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 対象施設数	2	イ		ウ	
名称	単位								
ア 対象施設数	2								
イ									
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 当市の観光客	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 観光客入込数(暦年)</td><td>千人</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 観光客入込数(暦年)	千人	キ		ク	
名称	単位								
カ 観光客入込数(暦年)	千人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 碓氷海岸に観光に来てもらう。 碓氷海岸キャンプ場を利用してもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 碓氷海岸インフォメーションセンター来訪者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>シ 碓氷海岸キャンプ場利用者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ス</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	サ 碓氷海岸インフォメーションセンター来訪者数	人	シ 碓氷海岸キャンプ場利用者数	人	ス	
名称	単位								
サ 碓氷海岸インフォメーションセンター来訪者数	人								
シ 碓氷海岸キャンプ場利用者数	人								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・大船渡市を訪れる。 ・当市の観光振興につながる。									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		19,156	15,000	15,000	15,000	15,000
	事業費計(A)		千円	0	19,156	15,000	15,000	15,000	15,000
	人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間		80	80	80	80	80
		人件費計(B)	千円	0	320	320	320	320	320
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	19,476	15,320	15,320	15,320
		千円							
⑤活動指標	ア	2		2		2		2	
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	千人		484	550	640	797	817	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	人	43,430	39,616	45,000	50,000	55,000	60,000	
	シ	人	1,572	1,646	1,800	1,900	2,000	2,100	
	ス								

事務事業ID	1818	事務事業名	碓石海岸インフォメーションセンター管理運営事業
--------	------	-------	-------------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 国が碓石海岸インフォメーションセンター等の施設を整備した平成26年度から、事業を実施している。
 一般社団法人大船渡市観光物産協会は、平成26年度より復興支援員制度を活用して観光振興支援員を雇用し、観光振興に取り組んできた。碓石海岸インフォメーションセンターの管理運営もこの制度を活用していたが、制度の活用は令和2年度で終了し、観光施策の効率的・効果的な推進を図るため、令和3年度より、碓石海岸インフォメーションセンター管理運営事業を実施した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 ・当市の震災後における観光客入込状況は、平成26年の約112万人をピークに年々減少傾向であったが、令和元年は、前年比13%増の789千人と増加に転じた。しかし、令和2年の観光客入込状況は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年比45%増の430千人と大幅に減少した。
 ・みちのく潮風トレイルのサテライト業務など、平成26年度にはなかった新たな取組が開始されている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 当市の代表的な観光地である碓石海岸の観光情報の発信や観光客への案内等のサービスの提供は、当市の観光振興において重要な役割を担っているとの声があがっている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 当市の代表的な観光地における案内等のサービスの提供や、観光地への誘客を図る取組であることから、当市の観光振興に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的は何か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少している状況において、当市の代表的な観光地への誘客を図るための事業であり、市が取り組むべき事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 当市の観光振興を図るための事業であり、対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 地域におけるイベントやキャンプ場の利用期間の拡大など、観光客の増加につなげる取組により、成果の向上余地があると考えられる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事業を実施しない場合、当市の代表的な観光地におけるサービスが低下することになり、観光客の減少につながる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 管理運営にあたり、施設の所有者である環境省からの負担により、事業費の削減余地がある。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業の実施は、大船渡市観光物産協会に委託しており、職員の事務は、委託契約事務、進捗管理等、必要最小限となっている。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益者は観光客、市民であり、公平と言える。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現在、事業費は市の負担となっているが、施設の所有者である国(環境省)からの費用負担を求めることにより、事業費の削減が図られる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	●																				
	維持			×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	当市の代表的な観光地である碓石海岸に隣接し、みちのく潮風トレイルのサテライト施設として位置づけられている施設であることから、イベントの開催やキャンプ場の利用促進など、今後も取組を強化していく必要がある。